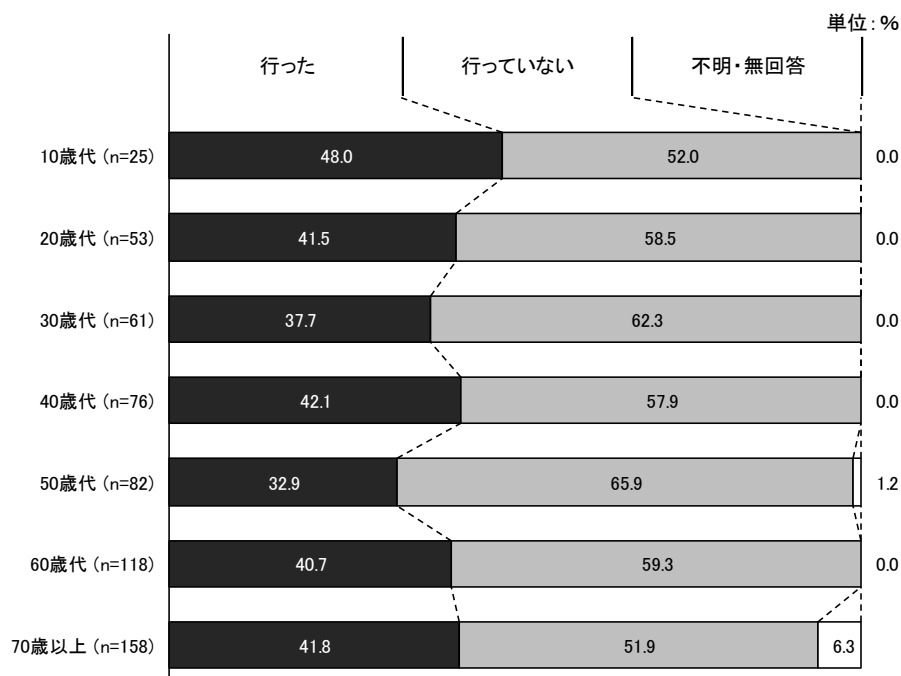
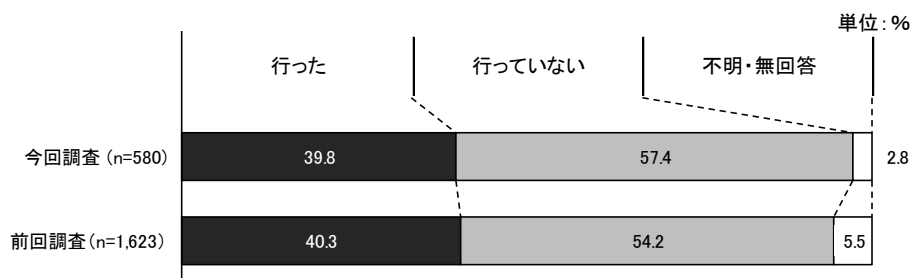


調査結果

1. 生涯学習の実施状況について

問1 この1年間（平成26年4月から現在まで）に生涯学習を行いましたか。
（ひとつに○）

この1年間に生涯学習を行ったかについては、「行った」が全体の39.8%にとどまっており、特に50歳代の割合が32.9%と最も低くなっています。



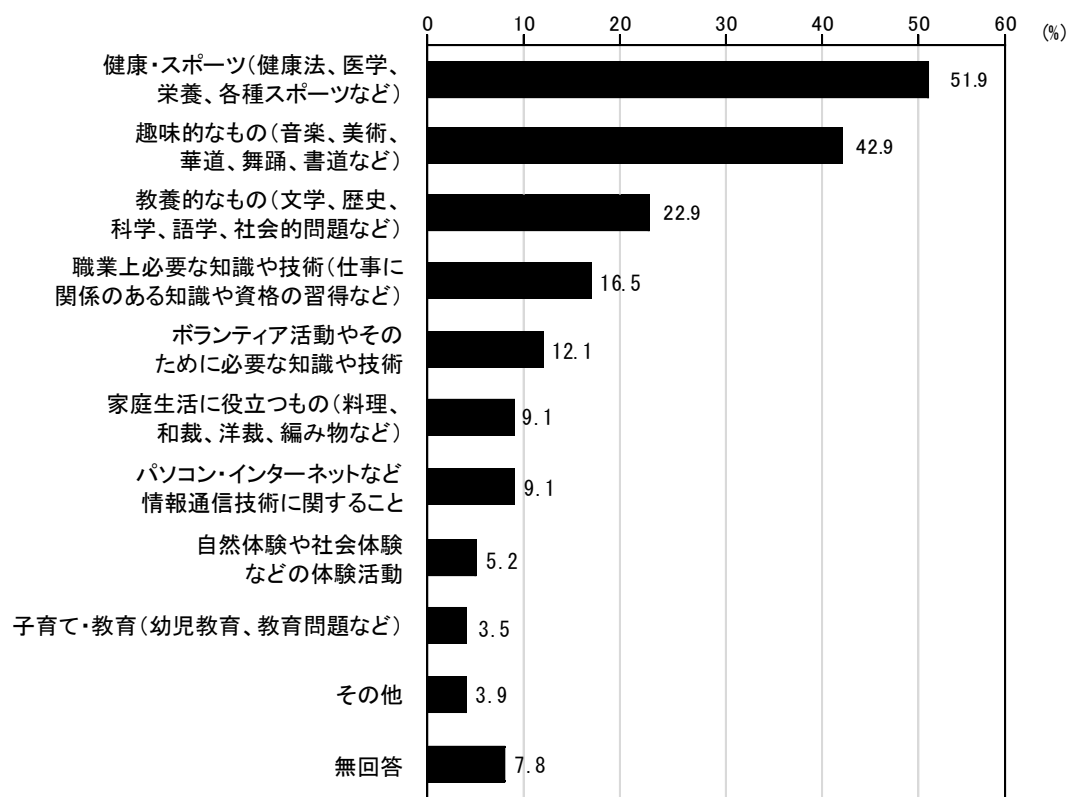
※前回調査は平成21年「狭山市民意識調査」

注：属性不明があるため年齢別の合計は一般市民の数に一致しない

問2 どのような内容の学習をしましたか。（あてはまるもの3つまで○）

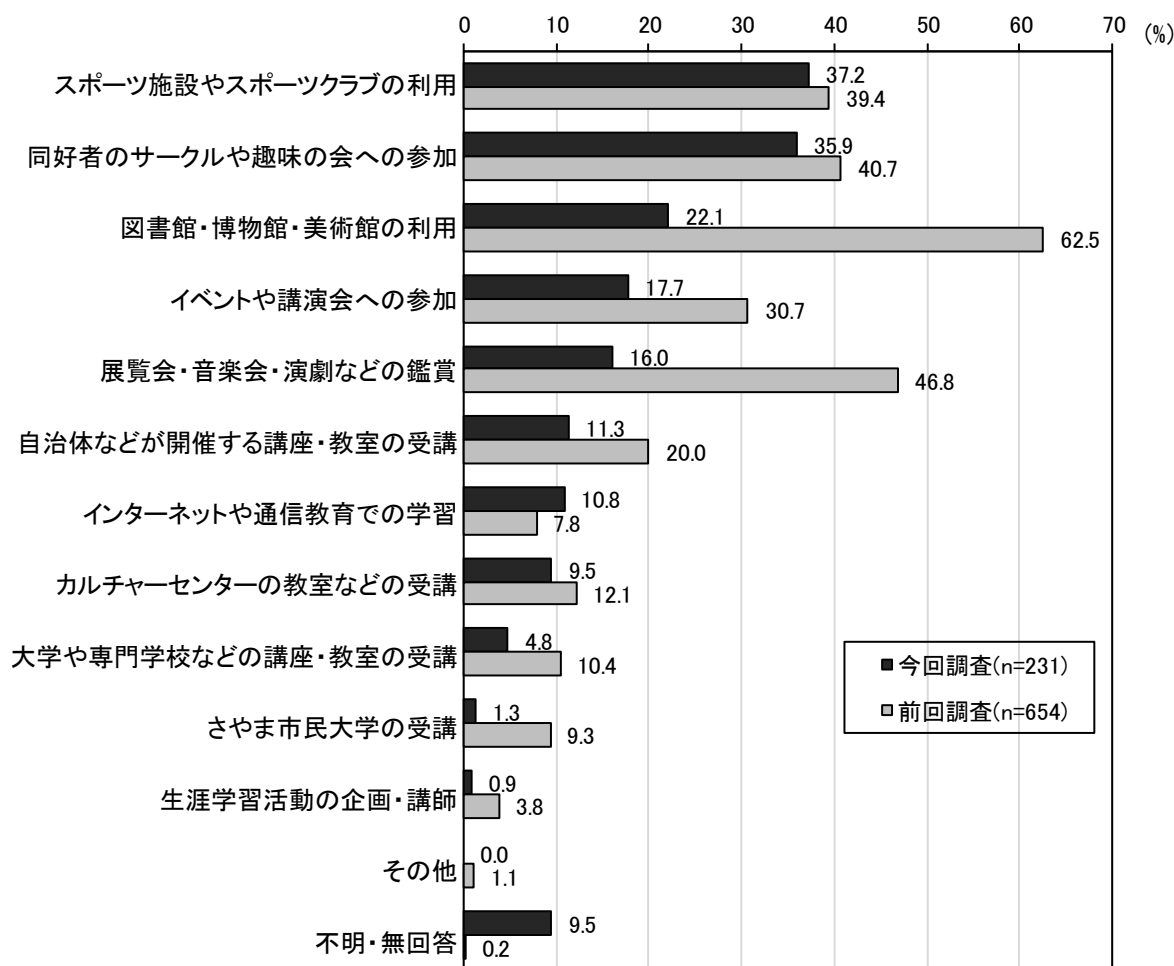
この1年間で行った生涯学習の内容については、「健康・スポーツ」が51.9%と割合が最も高く、次いで「趣味的なもの」が42.9%、「教養的なもの」が22.9%となっています。

【生涯学習を行った人】(n=231)



問3 生涯学習をどのような場で行っていますか。（あてはまるもの3つまで○）

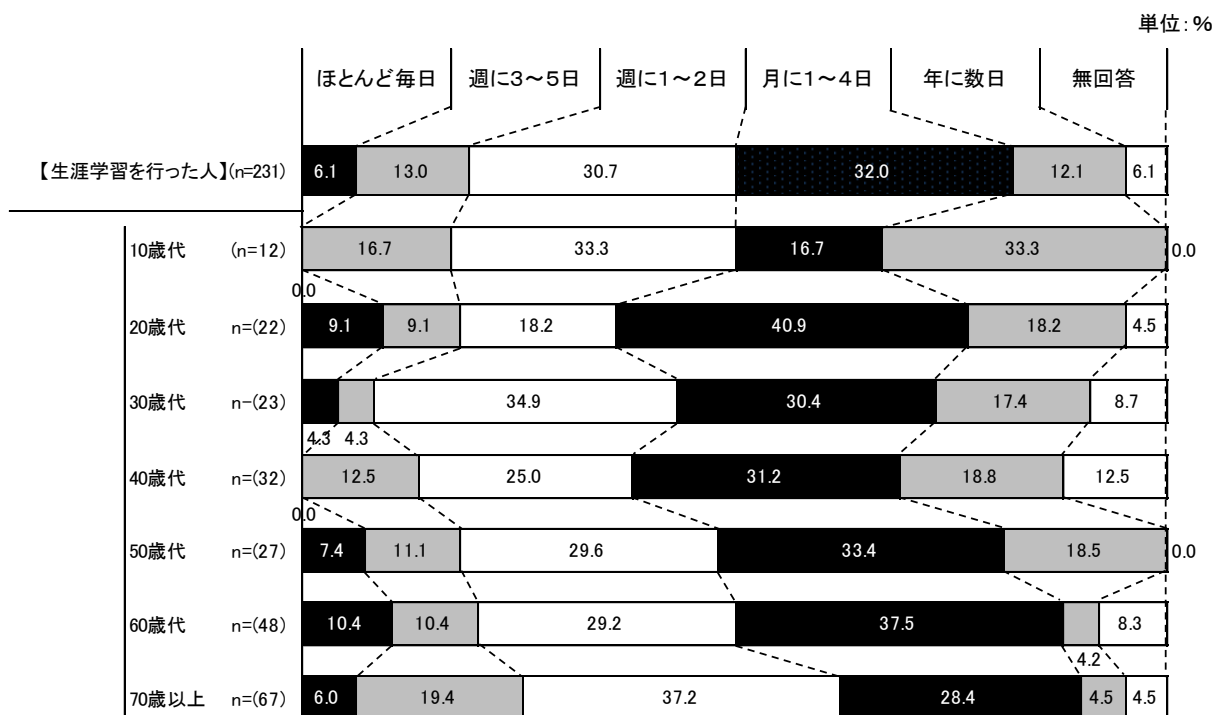
生涯学習の場について、平成21年の市民意識調査と比較すると、「インターネットや通信教育での学習」のみが上回り、10.8%となっている。一方、「図書館・博物館・美術館の利用」や「展覧会・音楽会・演劇などの鑑賞」は、前回調査と比較し、割合が大きく減少しています。



※前回調査は平成21年「狭山市民意識調査」

問4 どれくらいの頻度で生涯学習を行っていますか。(ひとつに○)

生涯学習を行っている頻度については、「月に1～4日」が32.0%と割合が最も高く、年代別では、20歳代が40.9%、次いで60歳代が37.5%となっています。

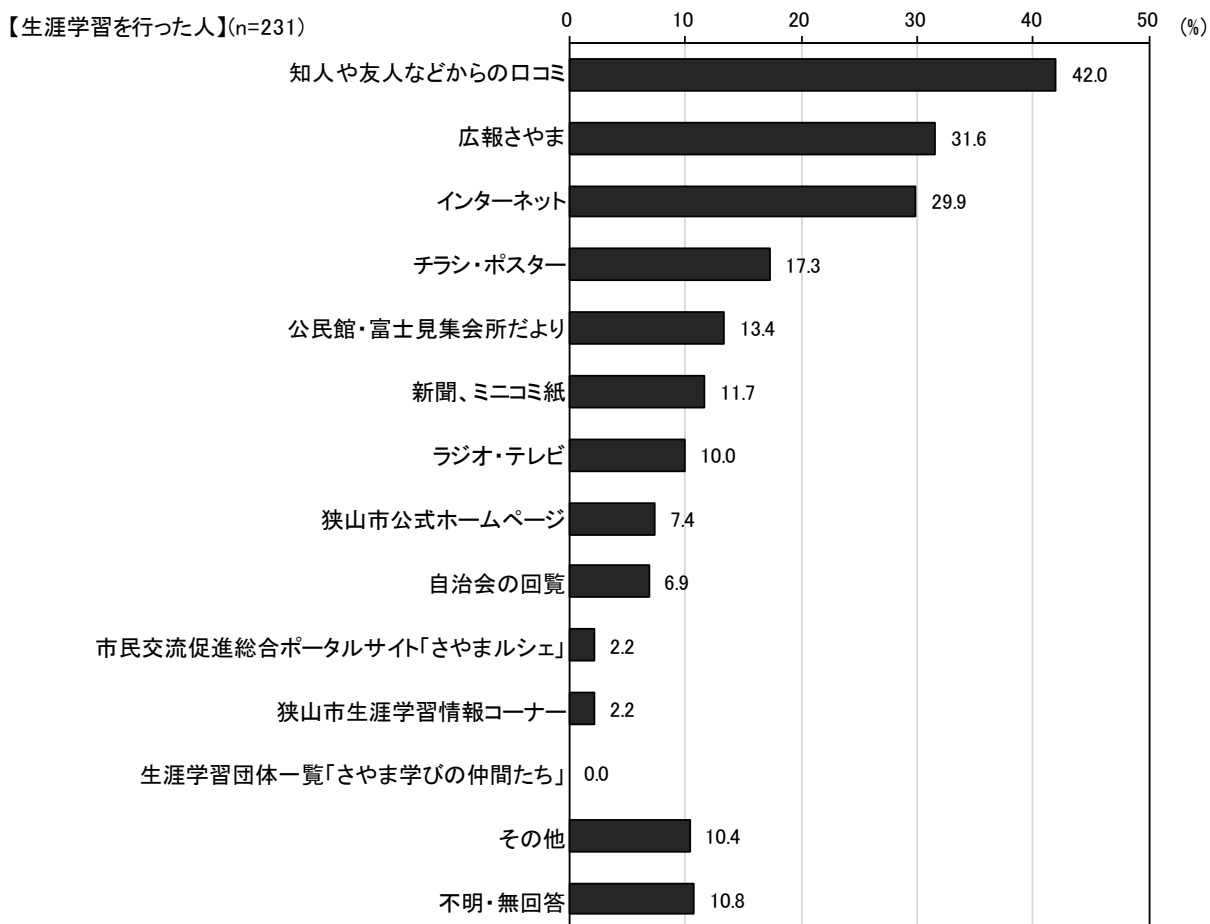


注：属性不明があるため年齢別の合計は一般市民の数に一致しない

問5 生涯学習に関する情報をどのように入手していますか。

(あてはまるもの3つまで○)

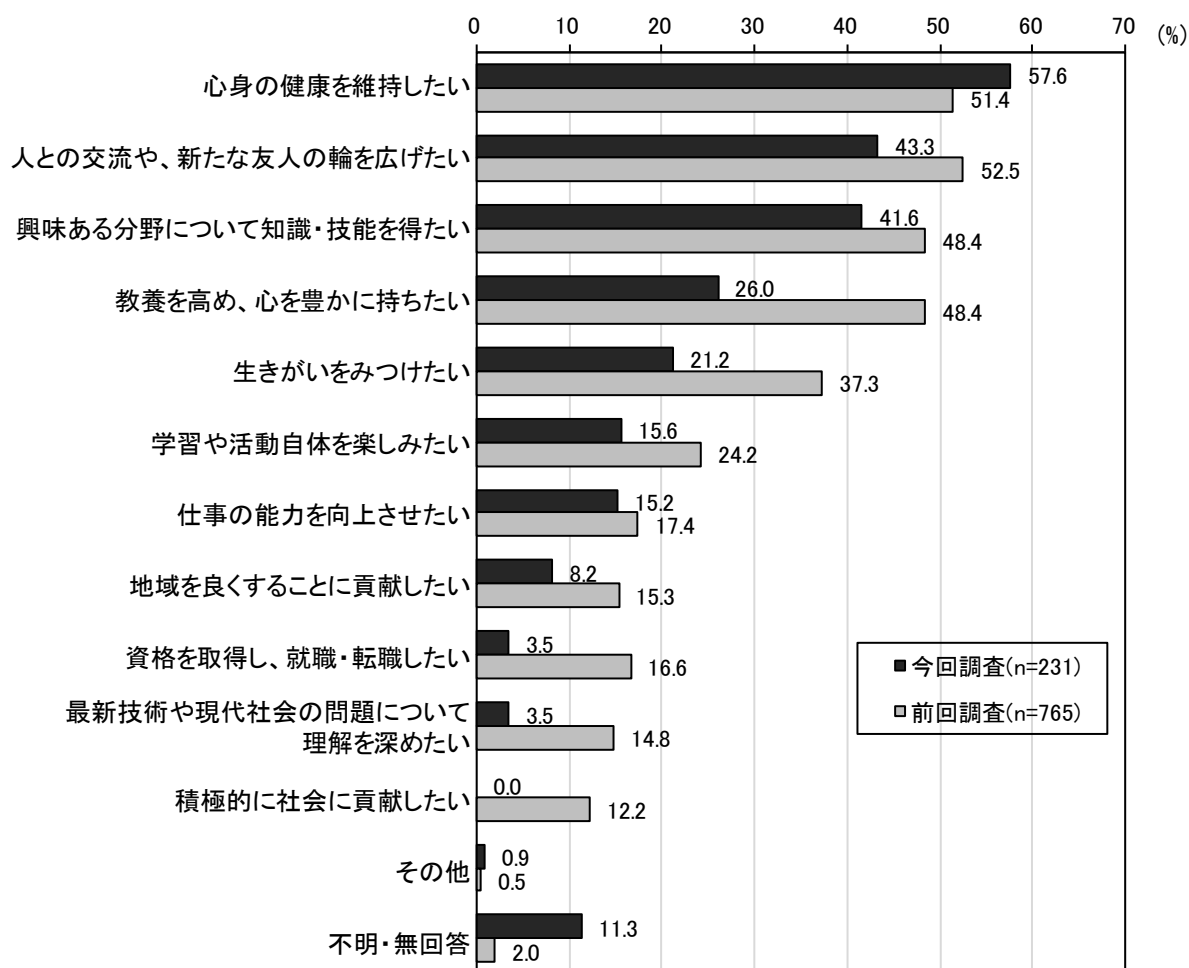
生涯学習情報の入手方法については、「知人や友人からの口コミ」が42.0%と割合が最も高く、市民交流促進総合ポータルサイト「さやマルシェ」及び「狭山市生涯学習情報コーナー」はそれぞれ2.2%と低くなっています。生涯学習団体一覧「さやま学びの仲間たち」の利用については回答がありませんでした。



問6 生涯学習を行うことにより、期待することは何ですか。

(あてはまるもの3つまで○)

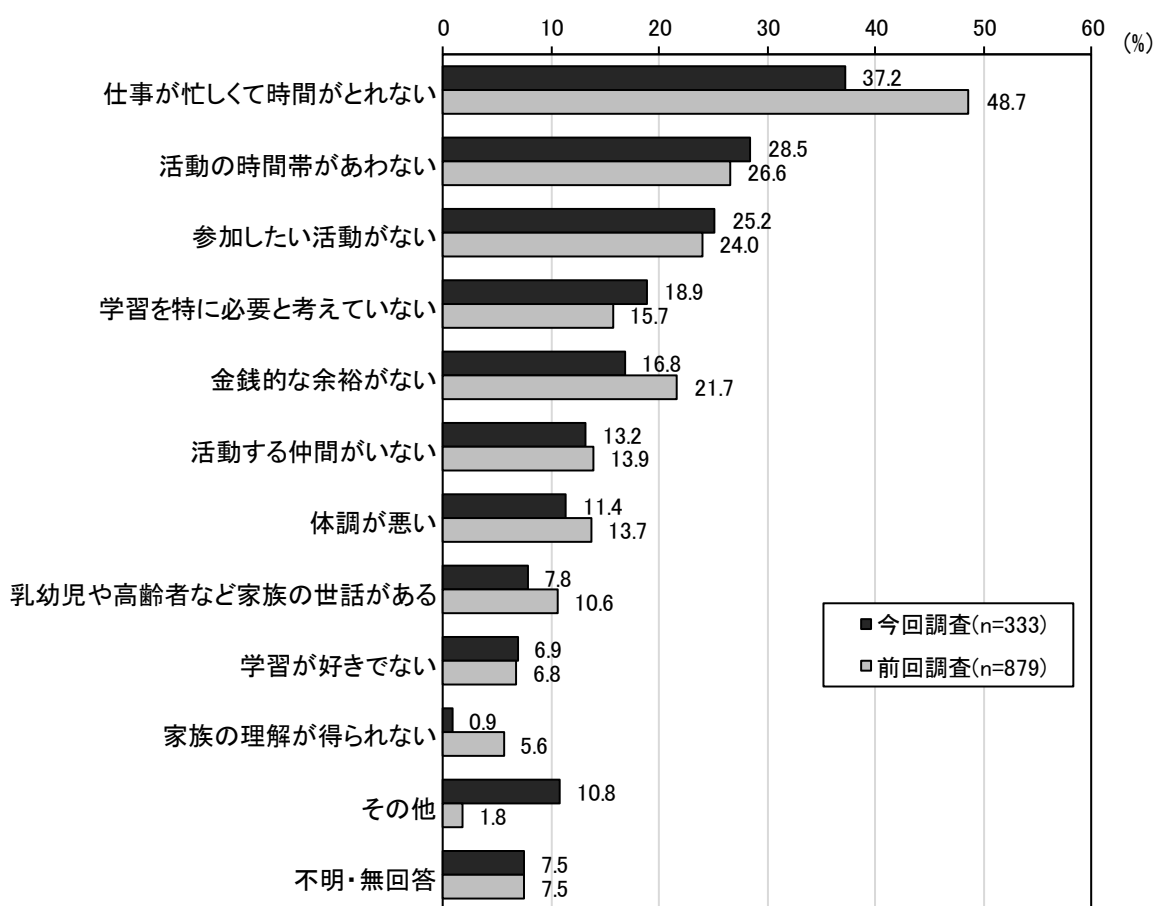
生涯学習を行うことにより、期待することは、「心身の健康を維持したい」の割合が前回の「人との交流や、新たな友人の輪を広げたい」よりも多く、最も期待が大きい。それ以外の項目では、前回調査に比べて全体に減少しています。



※前回調査は平成22年「教育振興基本計画策定にかかるアンケート調査」

問7 生涯学習をしていない理由は何ですか。（あてはまるもの3つまで○）

生涯学習をしていない理由については、「仕事が忙しくて時間がとれない」が37.2%と割合が最も高く、次いで「活動の時間帯があわない」「参加したい活動がない」「学習を特に必要と考えていない」の順になっています。

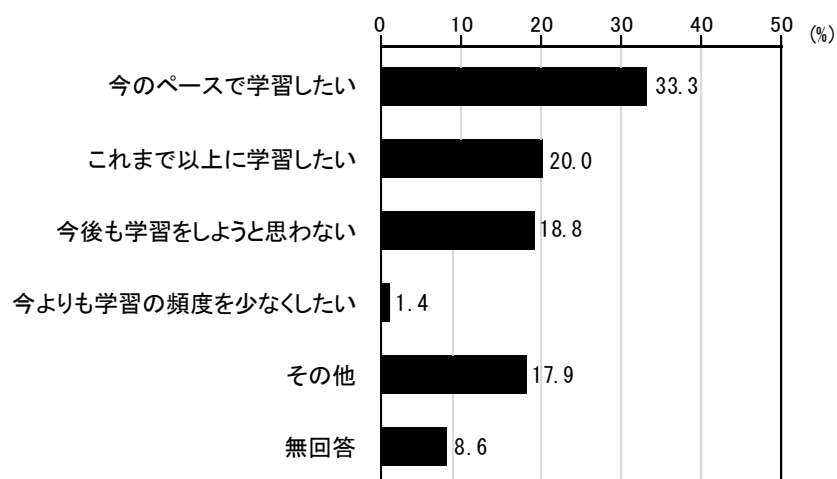


※前回調査は平成21年「狭山市民意識調査」

問8 生涯学習について、今後どう思いますか。(ひとつに○)

今後の生涯学習については、「今のペースで学習したい」が33.3%と割合が最も高く、次いで「これまで以上に学習したい」が20.0%、「今後も学習しようと思わない」が18.8%となっています。

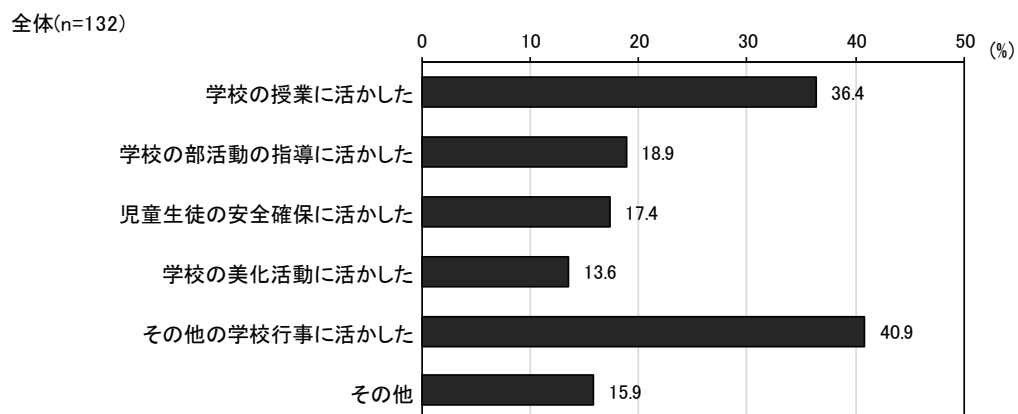
全体(n=580)



2. 学校支援について

問9 ご自分の知識、技能、経験等を学校教育に活かしたことがありますか。
(あてはまるもの3つまで○)

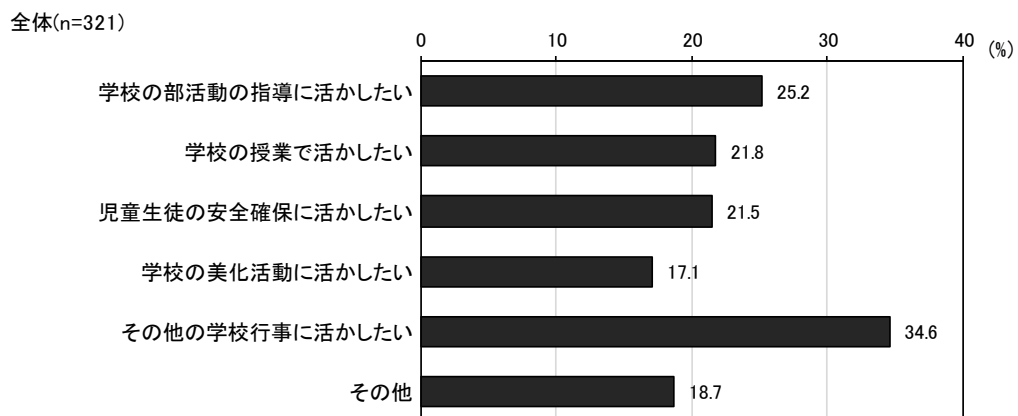
活かしたことがあるなかでは、「その他の学校行事に活かした」が40.9%と割合が最も高く、次いで「学校の授業に活かした」が36.4%、「学校の部活動の指導に活かした」が18.9%となっています。



※「活かしたことはない」及び無回答を除く

問 10 ご自分の持つ知識、技能、経験等を学校教育に活かすとしたら、何ができますか。（あてはまるもの3つまで○）

活かすとしたら、何ができるかでは、「その他の学校行事で活かしたい」が34.6%と割合が最も高く、次いで「学校の部活動の指導に活かしたい」が25.2%、「学校の授業で活かしたい」が21.8%、「学校の授業で活かしたい」が21.5%、「学校の美化活動に活かしたい」が17.1%、「その他」が18.7%となっています。

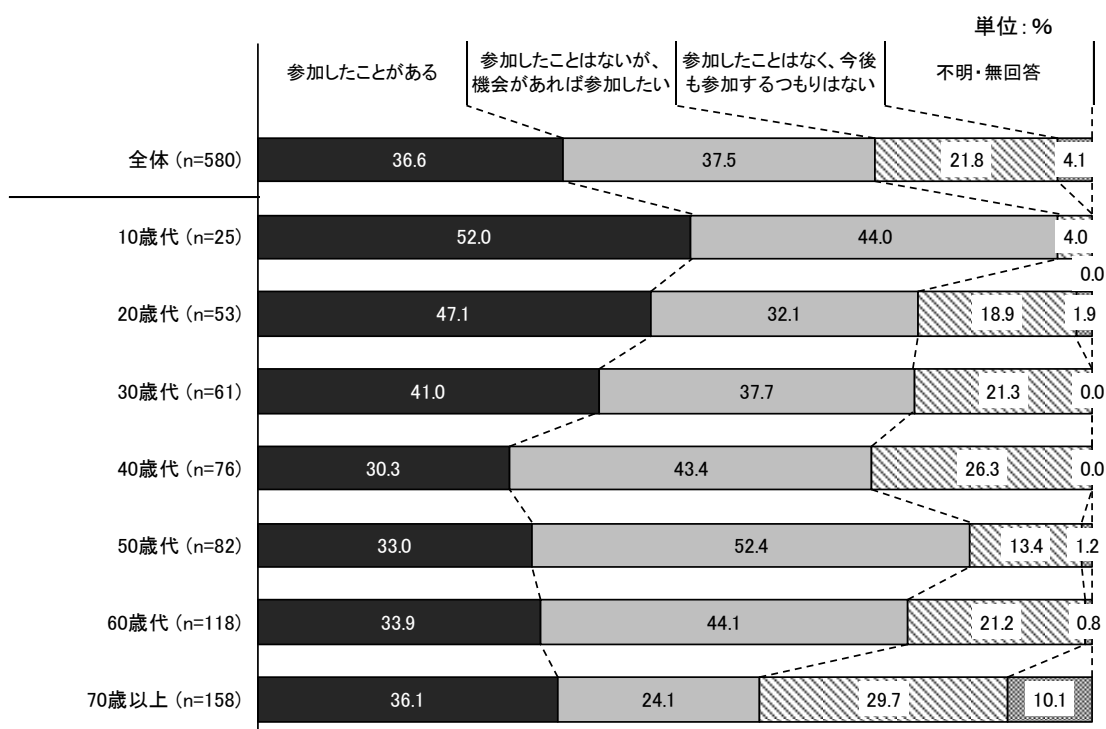


「活かしたいとは思わない」及び無回答を除く

3. ボランティア活動について

問 11 ボランティア活動に参加したことはありますか。(ひとつに○)

ボランティア活動の参加については、「参加したことがある」が4割弱だが、なかでも40代が約3割と割合が最も低くなっています。

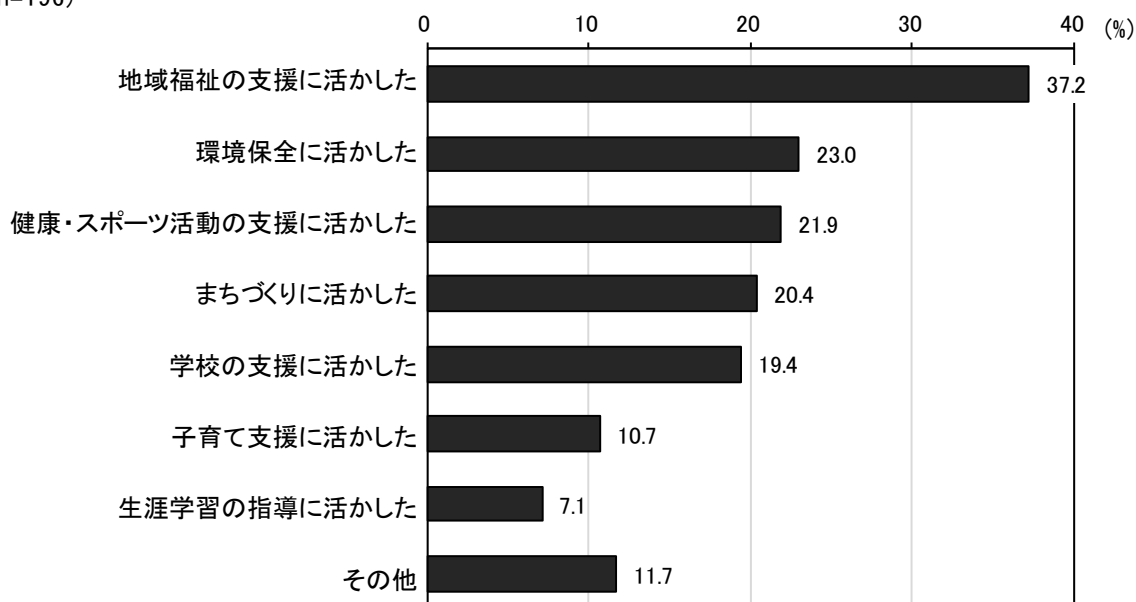


注：属性不明があるため年齢別の合計は一致しない

問 12 ご自分の持つ知識や技能、経験等をボランティア活動に活かしたことがありますか。（あてはまるもの3つまで○）

活かしたことがあるなかでは、「地域福祉の支援に活かした」が37.2%と割合が最も高く、次いで「環境保全に活かした」が23.0%、「健康・スポーツ活動の支援に活かした」が21.9%となっています。

全体(n=196)

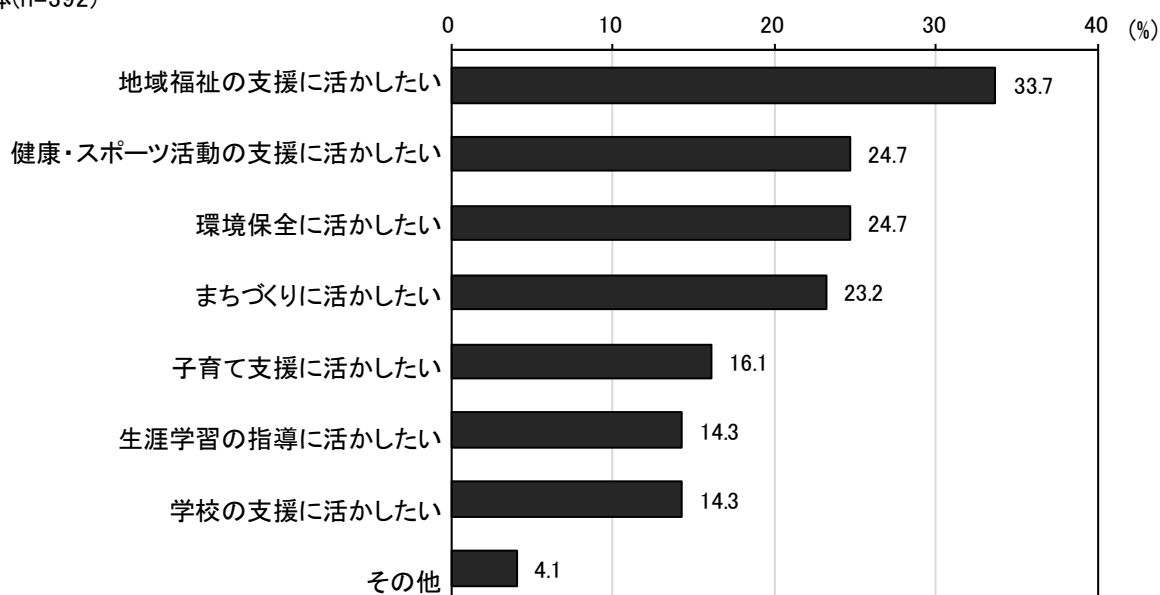


※「特になし」及び無回答を除く

問 13 ご自分の持つ知識や技能、経験等をボランティア活動に活かすとしたら、何ができますか。（あてはまるもの3つまで○）

自分の知識や技能、経験等をボランティア活動に活かすとしたら、何ができるかについては、「地域福祉の支援に活かしたい」が33.7%と割合が最も高く、次いで「健康・スポーツ活動の支援に活かしたい」、「環境保全に活かしたい」がそれぞれ24.7%となっています。

全体(n=392)

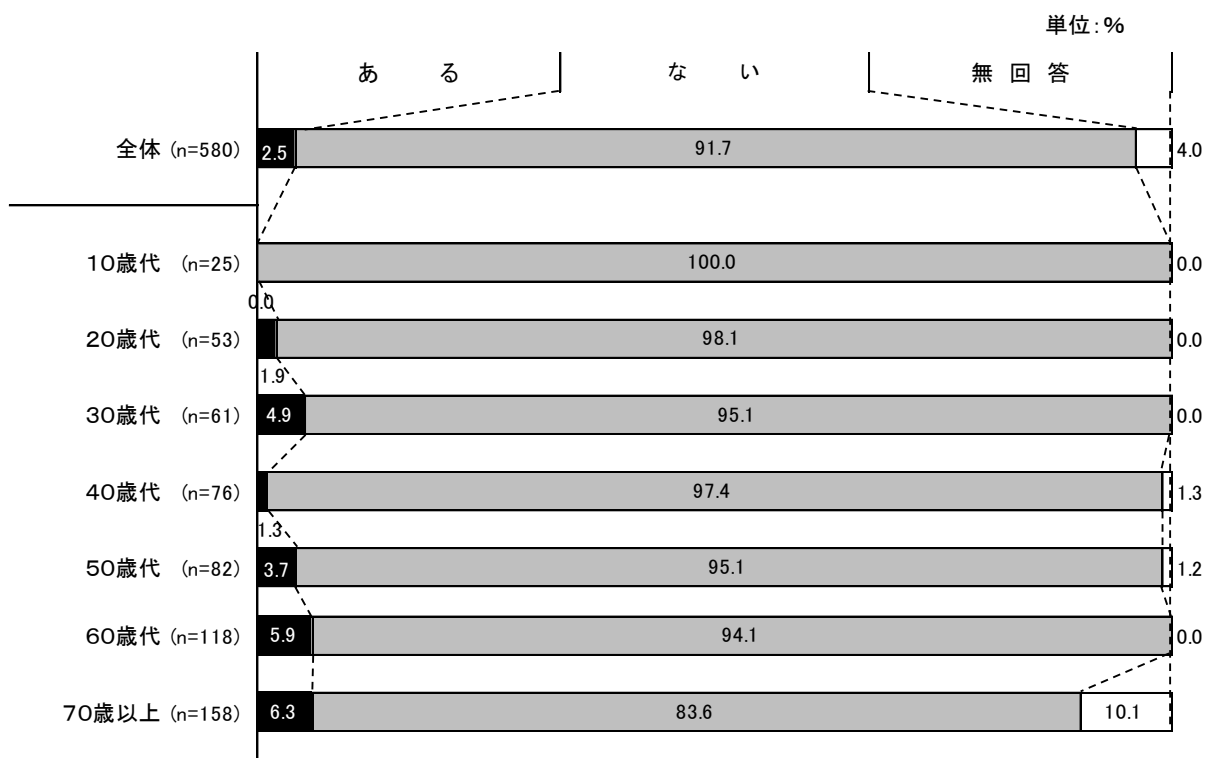


※「特にない」及び無回答を除く

4. 生涯学習に関する相談等について

問 14 この1年間に、生涯学習に関する相談や問合せをしたことはありますか。
(ひとつに○)

生涯学習に関する相談や問合せしたことが「ある」については2.5%にとどまっています。そのうち70歳代以上が6.3%で、次いで60歳代が5.9%となっています。10歳代については回答がありませんでした。



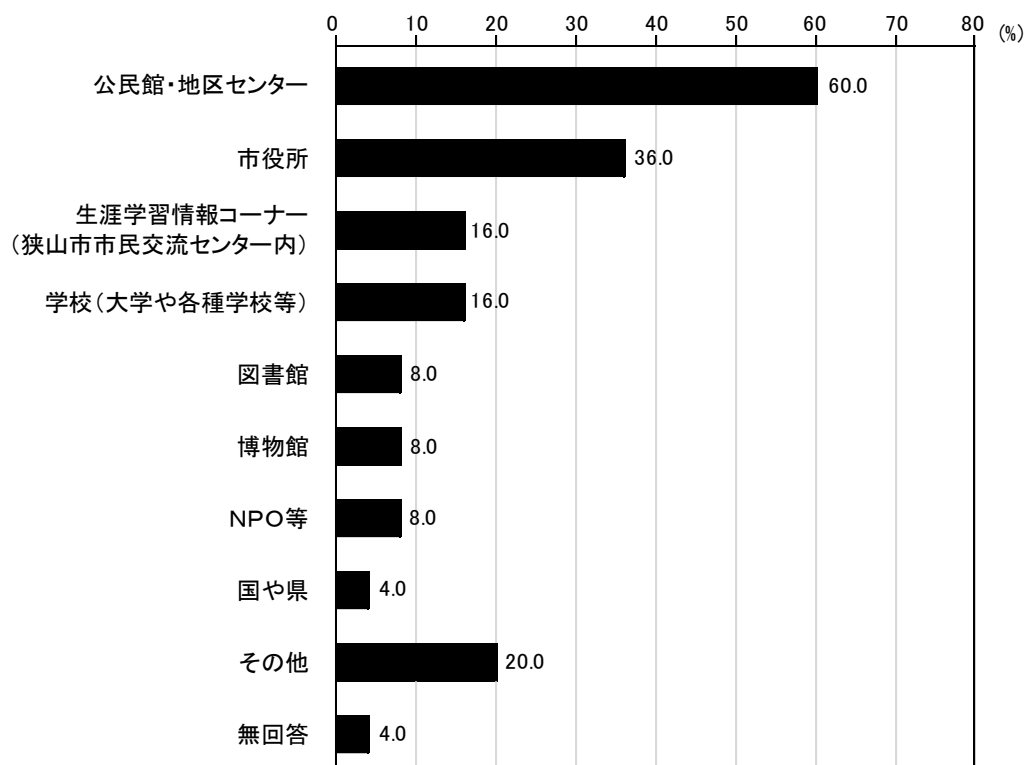
注：属性不明があるため年齢別の合計は一般市民の数に一致しない

問 15 生涯学習に関する相談や問合せをどこにしましたか。

(あてはまるもの3つまで○)

生涯学習に関する問合せ先については、「公民館・地区センター」が60.0%と割合が最も高く、次いで「市役所」が36.0%、「生涯学習情報コーナー」と「学校」が16.0%となっています。

【相談や問合せをした人】(n=25)

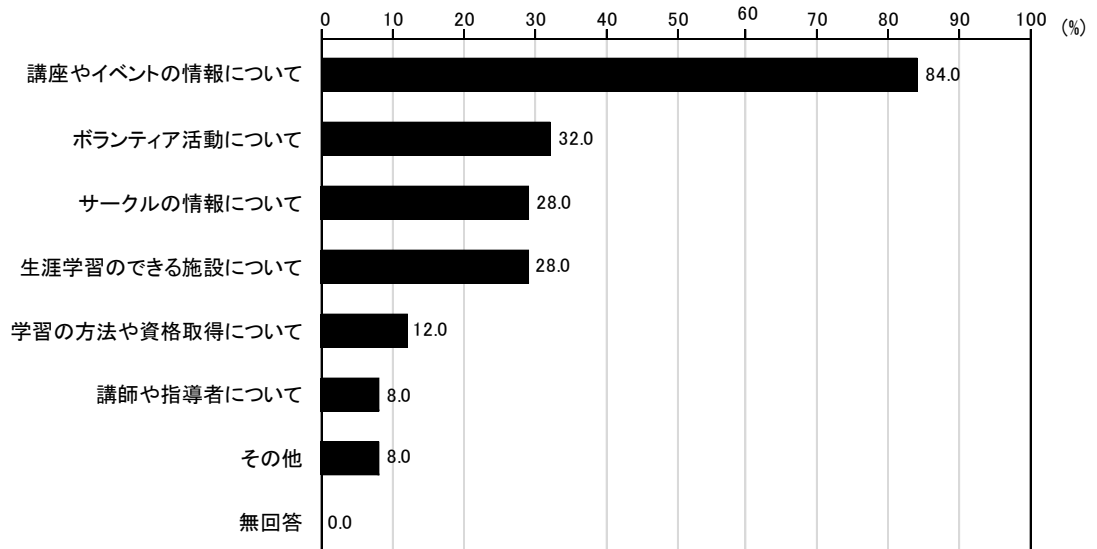


問 16 生涯学習に関する相談や問合せの内容はどのようなことでしたか。

(あてはまるもの3つまで○)

生涯学習に関する相談や問合せ内容については、「講座やイベントの情報について」が84.0%と割合が最も高く、次いで「ボランティア活動」が32.0%、「サークルの情報」と「生涯学習ができる施設」が28.0%となっています。

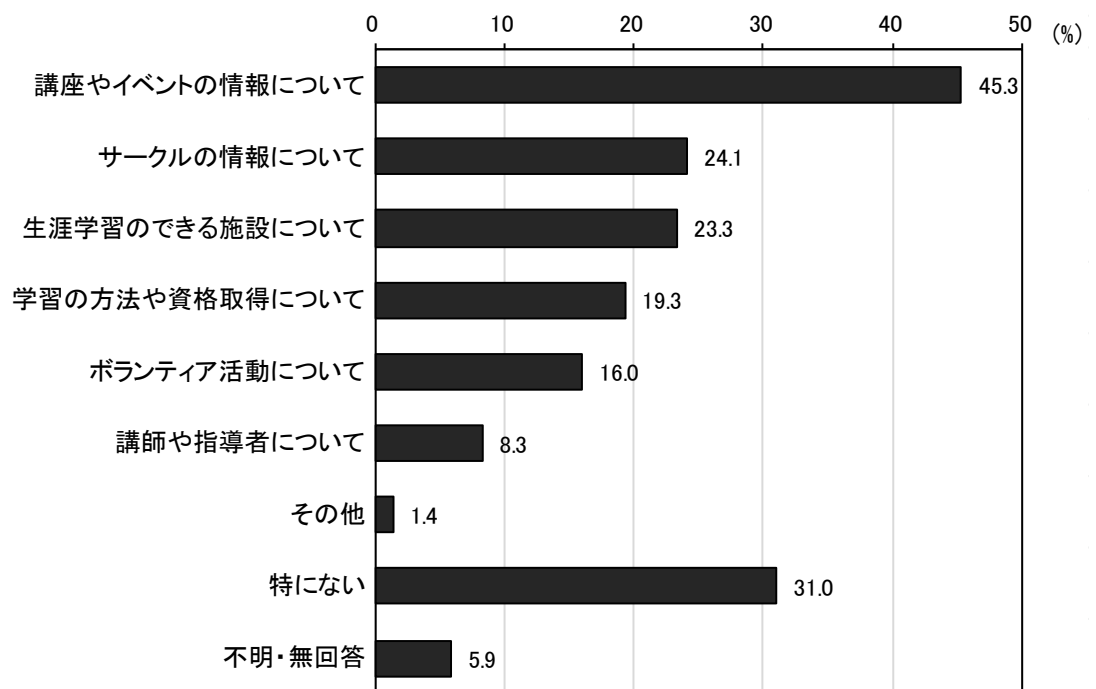
【相談や問合せをした人】(n=25)



問 17 生涯学習に関する相談や問合せをしたいこととして、どのようなことがありますか。（あてはまるもの3つまで○）

生涯学習に関する相談や問合せをしたいことでは、「講座やイベントの情報について」が45.3%と割合が最も高く、次いで「サークルの情報について」が24.1%、「生涯学習のできる施設について」が23.3%となっています。

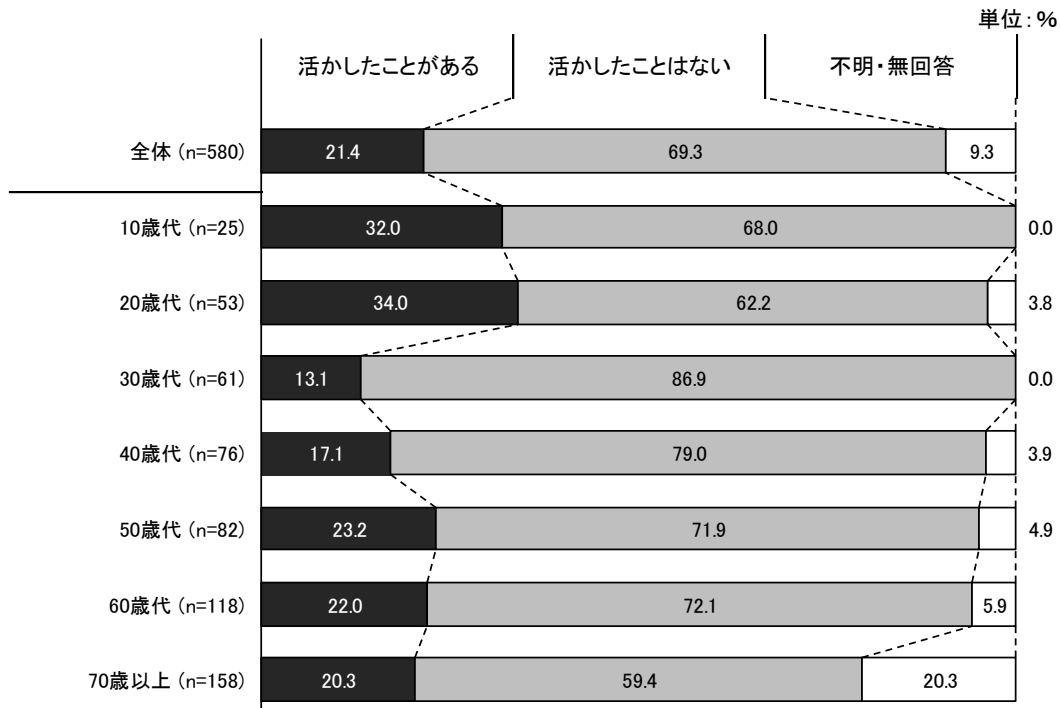
全体（n=580）



5. 生涯学習の成果の活用について

問 18 生涯学習を通じて身に付けた知識・技能や経験等を、自分以外のために活かしたことはありますか。（ひとつに○）

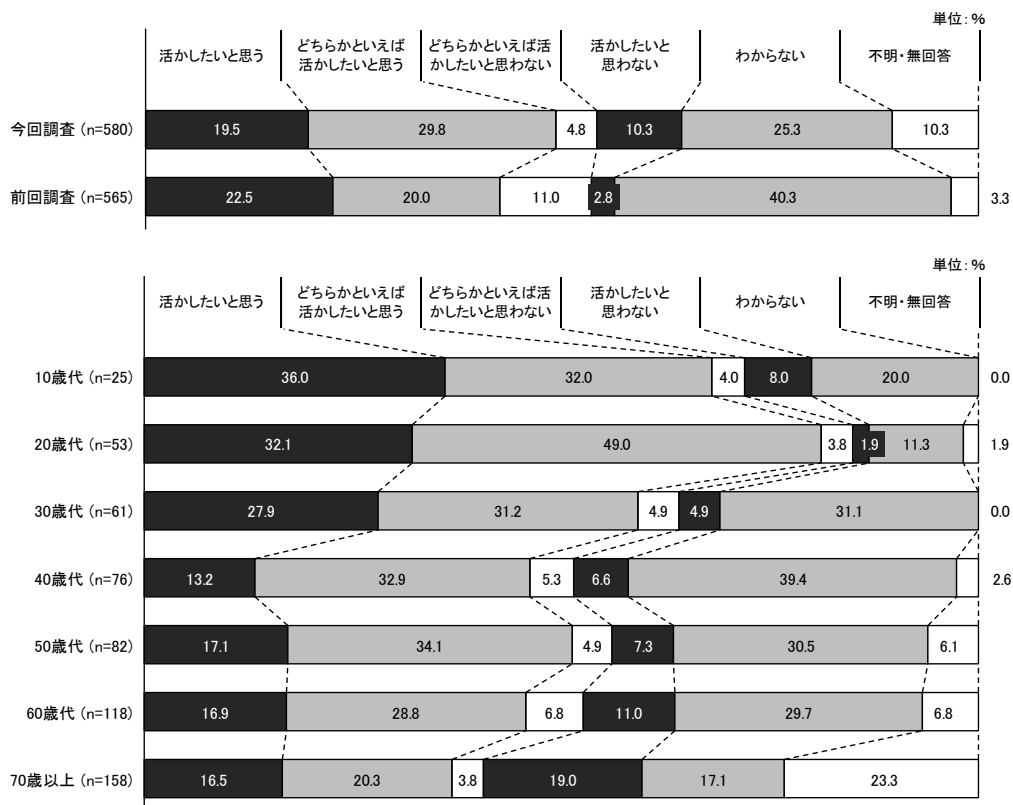
生涯学習を通じて身に付けた知識・技能や経験等を自分以外のために「活かしたことがある」については21.4%にとどまっています。そのうち10歳代と20歳代の若い世代の割合が高くなっています。



注：属性不明があるため年齢別の合計は一致しない

問 19 生涯学習を通じて身に付けた知識・技能や経験等を、今後、自分以外のために活かしたいと思いますか。（ひとつに○）

生涯学習を通じて身に付けた知識・技能や経験等を、自分以外のために活かしたいと思うかについては「活かしたいと思う」と「どちらかといえば活かしたいと思う」を合わせて49.3%となっています。そのうち10歳代と20歳代の割合が高くなっています。

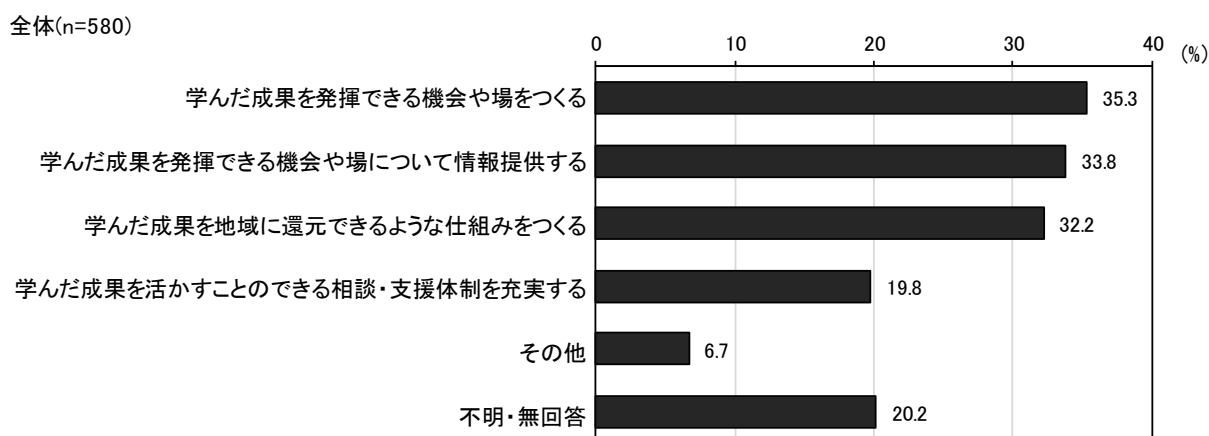


※前回調査は平成26年「教育振興基本計画策定にかかるアンケート調査」

注：属性不明があるため年齢別の合計は一致しない

問 20 生涯学習を通じて身に付けた知識・技能や経験等を活かすためには何が必要
 だと思いますか。（あてはまるもの3つまで○）

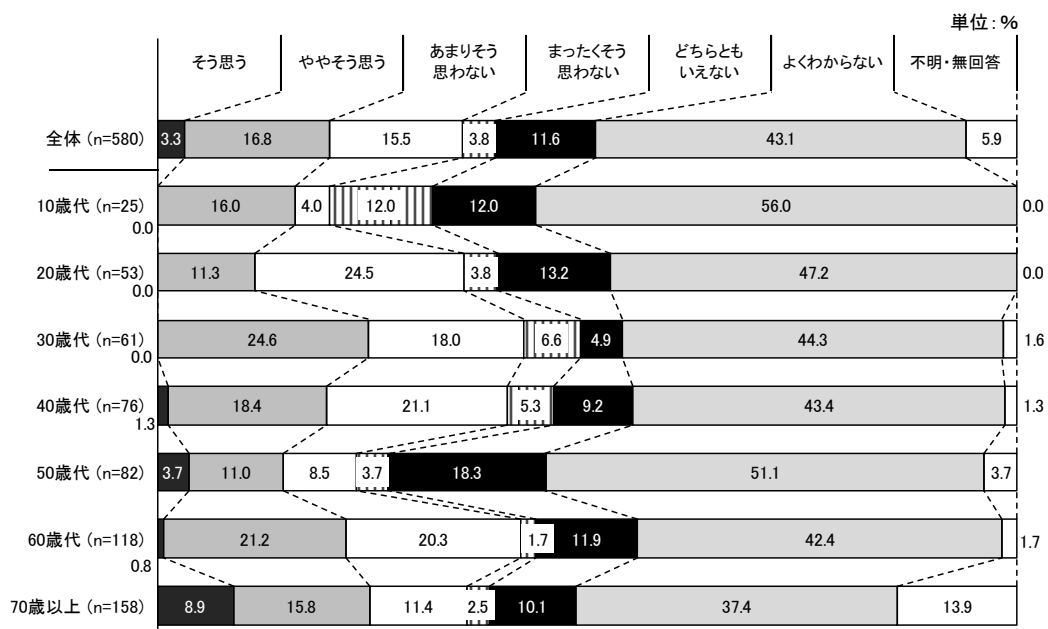
生涯学習を通じて身に付けた知識・技能や経験等を自分以外のために活かす
 ために必要なことについては、「学んだ成果を発揮できる機会や場をつくる」
 が 35.3%と割合が最も高く、次いで「学んだ成果を発揮できる機
 会や場について情報提供する」が33.8%、「学んだ成果を地域に還元できる
 ような仕組みをつくる」が32.2%となっています。



6. 生涯学習全般について

問 21 狭山市には、生涯学習をしやすい環境が整っていると思いますか。
(ひとつに○)

狭山市には生涯学習をしやすい環境が整っていると思うかについては、「**そう思う**」と「**ややそう思う**」を合わせて20.1%となっています。そのうち30歳代と70歳以上の割合が高くなっています。



注：属性不明があるため年齢別の合計は一致しない

問 22 生涯学習を充実するために、狭山市の行政に特に力を入れてほしいことは何ですか。（あてはまるもの3つまで○）

生涯学習の充実に向けて狭山市の行政に特に力を入れてほしいことについては、「高齢者や障害者が参加しやすいように配慮する」が24.7%と割合が最も高く、次いで「市民の関心の高い講座等を増やす」が24.3%、「講座等の種類や数を増やす」が22.6%となっています。

